

講座③
(12/10)

町内会情報発信講座
～知ってもらうための“届く情報発信”に取り組もう～

テーマ別講座③では、町内会情報発信講座を実施しました。町内会役員を対象に、町内会ガイドやチラシの作成ポイント、SNSの活用方法などについて講義を行いました。その後、テーマごとにグループに分かれ、チラシ作成やSNSの活用方法等について具体的に考えました。

<開催概要>

- ・日 時：令和元年12月10日（火）13:00～16:00
- ・場 所：青葉区役所 4階会議室
- ・参加者：11名
- ・内 容：講義、3グループに分かれてワークショップ



講義

講師の株式会社KITABA常務取締役 内匠庸介氏から、住民に町内会の役割や活動を知ってもらうためのポイントや手法をについて、情報提供がありました。

主なツールとして、町内会ガイド、イベントチラシ、SNSについて、様々な事例を交えながら、テクニックやデザイン、ポイントについて説明しました。

【参考】届く情報発信のポイント

- ①ターゲットを明確にしましょう。ターゲットのニーズや興味関心を知りましょう
- ②ターゲットのニーズにあった内容や取組を発信しましょう
- ③複数の方法・アプローチで発信しましょう（情報の接点を増やす）
- ④見せ方を工夫しましょう（わかりやすく、見やすく）

誰に何を
どのように
伝えるか

ワークショップ

ワークショップでは、町内会の代表的な情報発信として、「町内会ガイド」「イベントチラシ」「SNS」の3テーマを設定し、参加者の希望によりグループに分かれて意見交換を行いながら、それぞれのグループで、ターゲットを設定し、発信方法や掲載内容、紙面のレイアウトなど、具体的に考えました。

町内会ガイド作成チーム

ターゲットや掲載する内容、情報などを考えて、実際にガイドを作成

イベントチラシ作成チーム

イベントを題材として、ターゲットや内容を考えながら、参加したくなるチラシを作成

SNS活用を考えるチーム

SNSを使って発信したいことや発信の方法、どのようなことを発信するか、活用の方法を具体的に検討

ワークショップの結果（主なご意見と実際に作成したガイド、チラシのレイアウト）

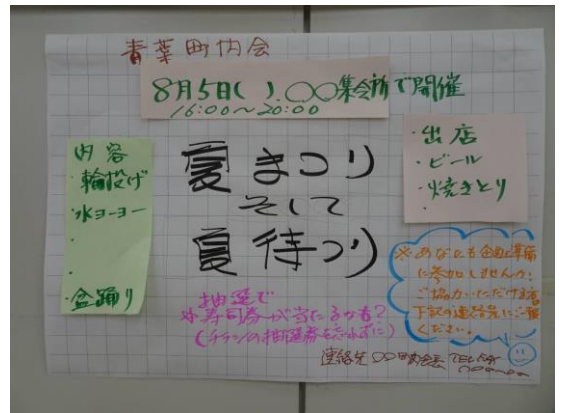
町内会ガイド作成チーム（2名）

- ターゲット
 - ・未加入者、転入者（特にアパートの未加入者）
- 狙い
 - ・町内会加入案内の前にまず生活に必要な基本情報を伝える
 - ・まちを知ってもらい、まちを好きになってもらう
 - ・町内会よりも、まちの情報を優先して伝える
- 掲載する情報
 - ・ゴミ捨ての方法／資源回収／サロンの案内／イベント情報
 - ・問い合わせ窓口になる連絡先
 - ・最後に補足として町内会の話（町内会費の案内）
- 配布方法の工夫
 - ・集合住宅は管理会社に協力してもらい全戸配付／個別訪問



イベントチラシ作成チーム（4名）

- イベント：夏まつり
- ターゲット
 - ・新しい住民／多世代の住民（子どもから高齢者）
 - ／町内会未加入者
- 興味を引くキャッチコピー
 - ・地域の夏まつり／やります！夏まつり／夏待(ま)つり／キテ～♡
- 来たくなるようなチラシの掲載内容
 - ・夏まつりでやること（花火大会／出店情報）
 - ・子ども向け：子ども楽しめる遊び
 - ・高齢者向け：盆踊り
 - ・新住民向け：問合せ先など、参加の入り口の情報
- 参加してもらうための工夫・仕掛け
 - ・抽選券をつける
 - ・遅い時間までやらない（～20時まで）
 - ・時間帯で世代が楽しめるプログラムにしてチラシに記載する
 - ・イベントの企画準備の段階から関わってもらうちょっとしたことを願う



SNS活用を考えるチーム（5名）

- ターゲット
 - ・特に若い世代の住民
- 使用するSNS
 - ・Facebook
- 発信内容や頻度
 - ・回覧板の代わり／行事の告知や中止の連絡／行事の申込
- 誰が投稿・管理するか
 - ・編集委員会で発信内容を決定（町内会役員や子ども会、老人会で組織したい）
 - ・発信は学生やPTAなど若い世代に協力依頼／発信だけのお手伝いを募集する
- 運用の課題・心配事
 - ・ルール明確化が必要（情報コントロールや苦情対応、コメントへの返信など）
 - ・継続性（無理なく続けていく仕組みが必要）
- SNSページを周知するための工夫・仕掛け
 - ・チラシやおたよりに毎回QRコードを付ける／掲示板でお知らせする

